

ITACS ver.4 の運用と利用支援

平成22年度異常気象分析検討会定例会資料

平成23年3月8日 異常気象分析検討会事務局

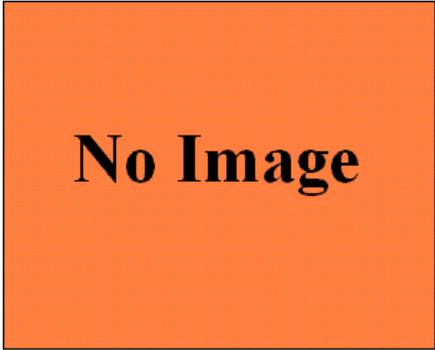
ITACS ver.4 の画面

data1						
dataset	element	data type	area	level	average period	show period
-Dataset-	element	-Data_type-	-Area-	1000hPa 1000hPa	-Mean Period- Ave time filter	RANGE 1900 1900
analysis method : -Analysis_method-						

Graphic Option	
Colorizing : COLOR	<input checked="" type="checkbox"/> Show Contour Labels
Drawing : SHADE	<input checked="" type="checkbox"/> Show Color Bar
Image Format : png	<input type="checkbox"/> Set Contour Parameters for data1
Font : default	interval : min : max :
	<input type="checkbox"/> Set Vector size : [inch] value :
	Color Table : Rainbow
	<input type="checkbox"/> Polar Stereographic : North pole
	<input type="checkbox"/> Logarithmic Coordinates
	<input type="checkbox"/> Reverse the Axes
	<input type="checkbox"/> Flip the X-axis <input type="checkbox"/> Flip the Y-axis
	<input type="checkbox"/> No Scale Labels
	<input type="checkbox"/> Draw Credit Inside
	<input type="checkbox"/> Apply All Pics
	picture size %
	<input type="checkbox"/> No Caption

Submit Clear SliceTool Help Logout

Image1



< output txt file> [detailed options](#)
< download data (ctl file and 4byte data) >

ITACS ver.4 の特徴

データ入出力処理にRubyとGPhysを採用

- 新しい種類のデータ（MOVE/MRI.COM-G, LBM）の追加が容易に

より詳細なグラフィックオプション

- 等値線の種類・色・マーカの種類などの細かい設定が可能

オプション設定・データ保存機能

- USER INPUTでアップロードしたデータやグラフィックの詳細設定がユーザーごとに保存される

データダウンロード機能の充実

- 従来のテキストデータに加えてGrADS形式でのダウンロードが可能

ITACS ver.4 の運用について

検討会・作業部会委員向け

- 今年度内に公開予定
- 当面は ver.3 も並行運用

ユーザーごとにアカウントを発行

- IDは異常気象分析WEBのアカウントと同じ
- パスワードの変更はWWW経由で

ITACSの利用支援について

ITACSに関する掲示板の設置

- 異常気象分析WEB内「ITACS御意見板」
- 今年度内に公開

チュートリアルマニュアルの作成

- ITACS ver.4用のチュートリアルマニュアル
- 来年度中に作成・公開

異常気象分析WEBの解析・予報資料について

異常気象分析WEB内に各種資料の目次ページを作成

- <http://extreme.kishou.go.jp/ex/datalinks>



The screenshot shows the homepage of the '異常気象分析Web' (Extreme Weather Analysis Web). The main title is '異常気象分析Web' with a logo of a stylized orange character. The navigation menu includes: ホーム, メンバーホーム, 検討会・作業部会, 異常気象要因分析, 循環場監視・予測資料一覧 (selected), 監視資料, and 参考資料. Below the menu, there are links for '気候情報課一般ユーザ', 'マイフォルダ', '個人設定', '元に戻す', and 'ログアウト'. The current location is indicated as '現在の場所: ホーム → 循環場監視・予測資料一覧'. The main content area is titled '循環場監視・予測資料一覧' and includes the following information:

- 作成者: Admin - 最終変更日時: 2011年02月16日 15時48分
- 循環場の監視・予測資料へのリンクをまとめてあります。
- 天候監視のための資料
 - [観測値資料一覧](#)
- 循環場監視のための資料
 - [大気循環場監視資料一覧](#)
 - [海洋循環場監視資料一覧](#)
- 季節予報に関する資料
 - [季節予報関連資料一覧](#)

大気モデルを使った要因分析

【目的】

異常気象の要因分析の高度化を図るため、異常気象発生時に、大気モデルを使った実験を実施し、その結果を分析に利用できる体制の整備を目指す。

【具体的方法】

- ・熱源偏差を与えた線形傾圧モデル(LBM)実験
- ・1か月アンサンブル予報結果の解析への利用
- ・海面水温の解析値及び平年値を与えた大気大循環モデル(1か月予報モデル)実験

線形傾圧モデル(LBM)実験

【経緯・目的】

- ・熱帯の対流活動による異常気象への影響を評価するため、東大大気海洋研究所の渡部准教授(異常気象分析検討会作業部会長)よりLBMを提供頂いた。
- ・当庁において、LBMのルーチン的な運用(毎月)と過去実験を実施した。ITACS ver.4(今年度末に公開予定)で、LBMの実験結果を利用できる環境を整備した。

【実施計画案】

- ・基本的な要素に関するLBMの結果を、異常気象分析Webに掲載する。
＜2011年度前半＞
- ・実験結果を毎月の気候解析に利用し、結果の解釈や評価について議論する。
＜2011年度から開始＞
- ・特定の領域の対流活動の影響を評価するため、任意領域の熱源偏差を与えた実験環境を整備する。
＜2011年度中に実施＞

1か月アンサンブル予報結果の解析への利用

【経緯・目的】

- ・今年度実施した分析検討会及び作業部会委員との意見交換の際、異常気象をもたらした現象の要因を把握する1つの方法として、アンサンブル予報結果の解析の提案があった。
- ・1か月予報及び検証プロダクトを異常気象分析Webに掲載。
- ・異常気象の要因を、より多くの視点・角度から分析することを図る。

【実施計画案】

- ・1か月アンサンブル予報結果を使った解析手法について、検討を行う。
＜2011年度＞

大気大循環モデル実験

【経緯・目的】

- ・今年度実施した分析検討会及び作業部会委員との意見交換の際、海面水温(SST)変動による異常気象への影響評価を行うため、SST解析値を与えた大気大循環モデル実験の提案があった。
- ・異常気象の主要な要因の1つである海洋の変動による影響評価の強化を図る。

【実施計画案】

- ・2011年度に、SSTの解析値及び平年値を与えた大気大循環モデル(1か月予報モデル)実験を実施するための準備を行い、2012年度より、異常気象発生時にモデル実験を実施し、その結果を要因分析に利用する。